

東洋大学 21 世紀ヒューマン・インタラクション・リサーチ・センター

研究年報 第 11 号 (2014)

平成 25 年度の研究活動について	安藤 清志	1
社会的逆境後の精神的回復・成長につながる資源 —ポジティブ心理学的観点を中心に—	堀毛 一也 安藤 清志 大島 尚	3
注目されるコーピングの柔軟性研究 —精神的回復への寄与—	加藤 司	9
組織行動をめぐる最近の研究動向	角山 剛	13
自己の過去経験について語ること (autobiographical narratives) の発達	久保ゆかり	17
From Increasing Similarity to Emergence of a New Organizational Form: Human Service Organizations in Japan	Yuko Suda	23
選挙制度が有権者の満足度に与える影響の国際比較分析	古城 隆文 谷口 尚子	51
場を活性化するコミュニケーション	大坊 郁夫	71
青年期・成人期における内省に関する研究の概観 —自我同一性形成および精神的健康との関連に着目して—	増淵 裕子	77

放射線リスクに関する情報源と対策行動との関連 —主婦を対象とした調査から—	柳瀬 公	85
潜在的自己不一致と理想自己への慢性的アクセシビリティの関連	鷹阪 龍太	93
共同セミナー 第5回東洋大学 HIRC21-翰林大学応用心理研究所共同セミナー報告	安藤 清志	97
2013 年度活動記録		101